

令和3年度 2学期学校評価

伊予市立中山中学校 令和3年12月アンケート実施

【評定の基準】  
 A 目標を達成  
 B おおむね達成  
 C あまり達成できていない  
 ※ 各評価資料の結果をもとに総合的に判断する。

【アンケートの評価基準】  
 ◎ 8割以上が肯定 ○ 6割以上が肯定 △ 6割未満が肯定  
 【アンケート】  
 4 たいへんよい 3 よい 2 あまりよくない 1 よくない

項目	小項目(重点目標)<担当>	評価指標及び目標値	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	アンケート結果(%)				4.3の評 割合(%)	平均	1学期	比較
						4	3	2	1				
教育課程と学習指導	教育課程の編成と実施<教務>	年間指導計画を定期的にチェックし、授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施に努めている。 目標値: 学校教育法に示された授業時数を100%達成		各教科年間授業時数の約75%以上をほぼ消化できている。(例年並み)今後、新型コロナウイルスや大雪などの非常事態に備えて、水曜6校時の授業補充や、前期全校NETだった木曜日の5・6校時の時間を授業時数調整にうまく活用し、教科のバランスをとりながら消化していきたい。 今年度は3年生の入試後の登校日が多いので、その期間をどのような授業にするか工夫する。	時数集計票 別紙にて報告								
		授業を改善し、わかる授業、興味もてる授業を展開している。 目標値: 教職員、生徒の80%以上が肯定	A	タブレットを活用したかったが、導入部分でのインターネットを用いた情報収集やまとめ、言語事項の復習のためのドリル問題、教科書に掲載されている動画の視聴といった、通り一遍の活動しか行うことができなかった。 1人1台タブレットにより、コンピュータ室へ行く必要がなくなり、学習の中での資料収集や、画像や動画視聴、ドリル問題など、学習や指導の幅が広がっているように感じます。今後さらに効果的な活用について研修していきたい。	教職員アンケート① 生徒アンケート①	9.1 72.7 18.2 0.0 23.5 64.7 11.8 0.0	82 ◎ 88.2 ◎	85	88	-3			
	朝ドリル・補充学習・個人指導を充実させ、一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導がなされている。 目標値: 教職員、保護者、生徒の80%以上が肯定	B	教職員と生徒が80%を超えているのに対して、保護者の30%以上はやや否定的な回答をしている。保護者は授業の様子を見る機会が少ないので、点数など数値的な結果に表れないと、実感しにくいかもしれない。もっと効果的な個に応じた学習指導が求められる。 小規模の学校として、個に応じたきめ細かな指導が期待されているところが大きいと思う。朝の自主学習の方法や家庭学習についての指導についても、さらに全教員でアイデアを出し合っていきたい。	教職員アンケート② 保護者アンケート① 生徒アンケート②	0.0 81.8 18.2 0.0 16.7 50.0 33.3 0.0 40.0 46.7 13.3 0.0	81.8 ◎ 66.7 ○ 86.7 ◎	78	79	-1				
	家庭学習の習慣が身に付いている。 目標値: 1年90分以上、2年120分以上、3年150分以上	C	個人差が大きい。年度初めに、予習や復習、苦手教科の克服、得意教科の伸長等について、どのような方法で行えばよいか、「学習の手引き」を活用するなどして、具体的に生徒に説明をしてはどうか。 授業の初めに毎回ドリル的なテストを行うなど、家庭で学習しようという確かな動機付けを行うとよい。 家庭学習時間調査もとりあえず毎日記録するとうだけで、形骸化しているように思う。もっと効果的な手立てを実践しなければならない。	教職員アンケート③ 生徒アンケート③ 家庭学習時間 3年生 1,2年生 保護者アンケート②	0.0 45.5 54.5 0.0 20.6 32.4 14.7 4時間以上 3~4時間 2~3時間 1~2時間 0.5~1時間 0.5時間未満 0.0 30.7 15.3 30.7 23.0 0.0 0.0 10.0 10.0 40.0 30.0 10.0 16.1 45.2 29.0 9.7	45.5 △ 53 △ 61.3 ○	53	42	+11				
	適切な量や内容の宿題が与えられている。 目標値: 生徒の80%以上が肯定		多いと感じている生徒は0%で、適切と答えた生徒が70%近くおり、少ないと答えた生徒は約30%であった。各教科、もう少し量を増やすことも考えてよいかもしれない。	生徒アンケート④	30.3 69.7 0.0								
	発達段階に応じた基礎学力が身に付いている。 目標値: 全国学力調査などで全国平均値よりも上。		平均正答率は、国語68%(県65%、国64.6%)、数学64%(県58%、国57.2%)と県平均及び全国平均を上回っている。 生徒について、「教科学力」と生徒質問紙との関連から「生活習慣・学習習慣」、「規範意識・自己有用感」、「学習に対する興味・関心」の3領域で集計すると、「生活習慣・学習習慣」の項目で全国基準及び県基準と同程度であるが、残りの項目は全国基準及び県基準を下回っている。 「自己有用感」「規範意識」の項目については全国基準及び県基準をやや下回る程度であるが、「学習に対する興味・関心」は、国語、数学ともに著しく低い水準である。 生徒の実態に応じて、教職員全員が課題意識を共有しながら授業改善に取り組み、学力を向上させていきたい。	学力テスト結果									
	学校関係者評価委員の所見		○コロナ禍の中、授業時間数の消化はありがたい。今後も、タブレット活用等により授業時間の消化を期待する。 ○家庭学習については、個人差が大きい。宿題をするのが精一杯で、予習や復習を行う習慣になるまでには時間がかかっていた。 ○スマホやタブレットで何でも検索できる時代で、それに頼ってしまう。 ○保護者に伝わっていないことが多いのだと、アンケートによって理解し、改善を図るように意識されているのでありがたい。	学校の対応	1人1台のタブレット端末が貸与され、授業の中で学習課題の解決に向けた情報収集、動画の視聴、発表のためのプレゼンテーション作成等に活用され、より深まりのある授業が展開されている。朝学習では、タブレットを活用したドリル学習で数学の問題の反復練習に取り組んでいる。 家庭学習については、自主学習ノートに学習した内容を学級担任が確認するようにしているが、十分に定着できているか見届けを確実にしていきたい。また、タブレットを持ち帰り、各教科のドリル学習に活用し、自分のペースで学習する習慣を身に付けさせる取組を進めている。								
	生き方を考える教育	心の教育の推進<道徳推進教師>	道徳の時間の指導が充実し、道徳的な実践力が育っている。 目標値: 教職員、生徒の80%以上が肯定	A	2学期は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため控えていた話し合い活動やグループ活動を行うなどして、単調な授業にならないように努めた。 道徳科の時間の指導が、実践につながっていくように、自分の生活を振り返って考えさせる指導を工夫した。	教職員アンケート⑧ 生徒アンケート⑨	0.0 81.8 18.2 0.0 50.0 29.4 20.6 0.0	81.8 ◎ 79.4 ○	81	83	-2		
		進路指導<進路指導主事>	正しい勤労観・職業観等、将来の生き方や進路の適切な選択に向けて、機会をとらえて働きかけられている。 目標値: 教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	B	3年生は、自分の進路について真剣に考えていく時期になり、教育相談をしてきた。今後も、将来の自分について考える機会をつくりたい。 2年生は、職場体験学習を行い、実際の職場で、働くことの大変さややりがいを感じているようだった。今後の中学卒業後の進路(進学)と絡めて継続して進路指導を行ってきたい。 1年生は、3学期に職業調べを行うことで、自分の将来について考えるきっかけ作りをしていく。教育相談や普段の会話の中でも機会を捉えて、将来への希望が持てるよう話していきたい。	教職員アンケート④ 保護者アンケート③ 生徒アンケート⑤	0.0 63.6 36.4 0.0 4.0 60.0 36.0 0.0 46.9 34.4 18.8 0.0	63.6 ○ 64 ○ 81.3 ◎	70	79	-9		
		集団づくり<教職員>	学級にはまとまりがあり、一人ひとりを支えあう雰囲気がつくられている。 目標値: 教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	困難を抱える生徒への思いやりや優しさが感じ取れる言動が学級の中で多く見られた。 コロナ禍の中、短時間で多くの行事が行われる中、生徒たちは互いに仲間を思いやり、支え合い活動をしていこうと思う。まとまりが感じられた2学期だった。3学期も、お互いを思いやり、支え合い、みんなで受験を乗り越えることができるように声掛け等したい。 生徒同士で互いの個性を認め合う学級の良い雰囲気づくりができるよう尽力した。特に、言葉遣いに対する指導や気遣いのある行動ができた生徒を褒めるということを繰り返していった。自分自身のいいところも、仲間のいいところも認められる学級をさらに目指していきたい。	教職員アンケート⑤ 保護者アンケート④ 生徒アンケート⑥	0.0 90.9 9.1 0.0 8.3 66.7 25.0 0.0 75.8 21.2 3.0 0.0	90.9 ◎ 75 ○ 97 ◎	88	85	+3		
学校関係者評価委員の所見			○周りの人にプラスの言葉を伝え、それを見える形で廊下などに貼りだしているのは、心を育てるのにとってもよい。 ○4月から18才成人が始まる。成人となれば自己責任が必要となる。中学生はその前段階として、多様性が尊重される社会の中で主体的な判断ができるよう訓練することが大切だ。 ○コロナ禍の中、今まで当たり前でできていたことが当たり前でなくなり、マスクをつけた生活が日常となる中で、とても素直な中山中学校の生徒同士での声かけができていくことは素晴らしい。 ○生徒たちが仲間への思いやり、支え合いを行っているのは先生方の指導のおかげでありがたい。	学校の対応	進路学習については、総合的な学習の時間の中で11月から各学年とも職業調べや高校調べ、進学指導などを計画的に実施していくようになっている。引き続きさまざまな機会を捉えて教育相談を実施し、将来の生き方についても指導していきたい。 それぞれの学級での集団生活をとおして、思いやりや支え合いの気持ちが深まってきているように感じられる。少数であるが故に人間関係が難しいこともあり、絆が深まることもある。いろいろな経験をとおして成長していく子どもたちを支援していきたい。								



令和3年度 2学期学校評価

伊予市立中山中学校 令和3年12月アンケート実施

【評定の基準】  
 A 目標を達成  
 B おおむね達成  
 C あまり達成できていない  
 ※ 各評価資料の結果をもとに総合的に判断する。

【アンケートの評価基準】  
 ◎ 8割以上が肯定 ○ 6割以上が肯定 △ 6割未満が肯定  
 【アンケート】  
 4 たいへんよい 3 よい 2 あまりよくない 1 よくない

項目	小項目(重点目標) <担当>	評価指標及び目標値	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	アンケート結果(%)				4,3の割合(%)	評価	平均	1学期	比較
						4	3	2	1					
教職員の資質向上	教職員の資質向上 <教職員>	きもちのよいあいさつができています。 目標値:教職員の80%以上が肯定	A	教職員間、対生徒、対地域の方や来客等、日頃からお互いに気持ちのよいあいさつをこころがけ、温かい雰囲気作りに努めたい。 特に、生徒に対するあいさつについて、プラス一言かけられるような気持ちの余裕を持ちたい。	教職員アンケート⑮	18.2	72.7	9.1	0.0	90.9	◎	90	91	-1
		来校者に対して、適切な対応を心がけている。 目標値:教職員の80%以上が肯定	A	できるだけ、迅速に、丁寧に、笑顔で対応したい。わざわざ2階まで来ていただいているので、帰られる時はできるだけ玄関までお送りするよう心がけたい。	教職員アンケート⑯	18.2	72.7	9.1	0.0	90.9	◎	90	##	-10
		健全な社会人として信頼にたる教職員となっている。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	定期的なふりかえりチェックをすることによって綱紀粛正ができているように思う。今後も自律を心掛けたい。	教職員アンケート⑰ 生徒アンケート⑱	9.1 48.5	72.7 42.4	18.2 3.0	0.0 6.1	81.8 90.9	◎ ◎	86	90	-4
開かれた学校づくり	保護者・地域との連携 <管理職・教職員>	学校の様子や、行事などについて家庭で話している。 目標値:生徒の80%以上が肯定	A	2学期は多くの学校行事が実施され、保護者も来校する機会も多かったため、家庭で学校のことについて話をする機会も増えたのではないかと。子どもが楽しく充実した学校生活を送ることが、家庭での会話のきっかけにもなると思う。3学期も一人一人が充実した学校生活を送ることができるようサポートしていきたい。 家庭の親子団らんのきっかけになればと、1学期は定期的に学級通信を発行した。2学期は発行ができなかったが、生徒たち(特に女子)は学校での出来事を家庭でよく話しているようである。	生徒アンケート⑲	50.0	44.1	2.9	2.9	94.1	◎	94	84	+10
		学校の様子や行事などが、学校だよりなどでよく知らされている。 目標値:保護者の80%以上が肯定	B	学校の様子は、HPや学校だよりでその都度お知らせはしているものの、周知が十分でないのかもしれない。子どもたちの生き生きとした姿がより伝わるようなHP等の作成に努めたい。 学校だよりの発行を20~25日の間には行うようにする。 ただ、行事ごとにHPでその様子を発信しているため、学校だよりは月に1回、その月の行事報告と翌月の行事予定を掲載して発行する形にしようと考えている。	保護者アンケート⑳	15.4	53.8	15.4	15.4	69.2	○	69	91	-22
		学校、PTA、地域はよく協力して活動している。 目標値:教職員、保護者の80%以上が肯定	A	PTAや地域の方々に、学校の様々な教育活動に快く協力をいただき感謝している。今後も、PTAや地域と連携を図りながら地域ぐるみで子どもを育てる学校づくりに努めたい。	教職員アンケート㉑ 保護者アンケート㉒	54.5 23.3	45.5 63.3	0.0 13.3	0.0 0.0	100 86.6	◎ ◎	93	97	-4
	学校関係者評価委員の所見		○子どもは、家庭で学校の出来事などよく話してくれた。学校での出来事は大事で、今後の思い出となる。 ○教職員、保護者、生徒が協力し合い、地域全体で子どもたちを見守り、育てていく学校でありたい。 ○生徒や保護者の希望や意見を聞く機会をできるだけ多くもつことが大切である。その希望や意見に縛られる必要はないが、それを尊重し、可能な限り取り入れることは大切である。 ○毎日の子どもたちの出迎えや見送りをしている先生方の姿が見られてありがたい。	学校の対応	学校だよりについては、発行が月末になり、翌月の行事予定のお知らせが遅くなってしまった。今後毎月20日~25日の間に発行するようにする。学校行事については、学校のホームページでも随時発信しているため、学校だよりは、月に1回の発行とし、その月の行事報告と翌月の行事予定を掲載しようと考えている。 PTA活動については、制限がかかる行事も多かったが、たいへん協力的に活動に参加していただき、ありがたい。学校、保護者、地域それぞれの立場で生徒を育てていきたい。									